



平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 日本農業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4997

URL <http://www.nichino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神山 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長

(氏名) 飯島 豊和

TEL 03-6361-1400

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	10,488	44.5	625	347.3	596	833.7	452	—
25年9月期第1四半期	7,260	9.2	139	—	63	—	10	—

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 611百万円 (25.7%) 25年9月期第1四半期 486百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	6.76	—
25年9月期第1四半期	0.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第1四半期	62,599	40,231	63.9
25年9月期	59,068	40,235	67.7

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 40,007百万円 25年9月期 40,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	4.50	—	8.50	13.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	6.50	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,500	12.4	6,600	8.3	6,500	10.5	4,300	9.9	64.26
通期	52,500	10.2	7,500	0.7	7,300	2.2	4,800	1.8	71.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期1Q	70,026,782 株	25年9月期	70,026,782 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年9月期1Q	3,162,400 株	25年9月期	3,143,864 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期1Q	66,872,038 株	25年9月期1Q	66,934,060 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の金融政策や経済対策の効果を背景に個人消費が増加傾向となり、企業の設備投資の持ち直しや生産活動の増加など緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、景気の先行きは海外経済の下振れの影響や消費税増税後の駆け込み需要の反動など依然不透明な状況にあります。

当社グループの第1四半期業績は、中核事業である農薬事業が不需要期にあたる季節的要因から、他の四半期業績に比べ相対的に売上高、利益とも低い水準に止まる傾向がありますが、当第1四半期連結累計期間は国内、海外とも農薬販売が好調に推移しました。その結果、売上高は104億88百万円（前年同期比32億28百万円増、同44.5%増）となりました。利益面では増収効果に加え、ノウハウ技術料の増加もあり、営業利益は6億25百万円（前年同期比4億85百万円増、同347.3%増）、経常利益は5億96百万円（前年同期比5億32百万円増、同833.7%増）となり、四半期純利益は4億52百万円（前年同期比4億42百万円増、同4,343.5%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、園芸用殺虫剤「フェニックス」、水稲用殺菌剤「ブイゲット」などの主力自社開発品目の普及拡大に努めました。また、消費税増税前の前倒し受注もあり国内販売全体の売上高は前年同期を上回りました。海外農薬販売では、アジア、欧州および米州各地域とも売上高が伸長しました。さらに、フェニックス原体の販売増加や為替が円安基調で推移したこともあり海外販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は、92億90百万円（前年同期比29億45百万円増、同46.4%増）となり、営業利益は2億78百万円（前年同期比2億72百万円増、同4,864.7%増）となりました。

[農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤事業が販路拡大などから売上高が伸長しました。また、医薬品事業では外用抗真菌剤「ラノコナゾール」、「ルリコナゾール」の販売が好調に推移しました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は、7億85百万円（前年同期比2億90百万円増、同58.8%増）となり、営業利益は3億96百万円（前年同期比2億67百万円増、同207.3%増）となりました。

なお、当社はシロアリ薬剤販売事業強化のため、本年1月7日付けでアリスライフサイエンス株式会社が保有するアリスライフサイエンスアグリマート株式会社（1月8日付で社名を株式会社アグリマートへ変更）の発行済普通株式の100%を譲り受けました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ35億31百万円増加し、625億99百万円となりました。これは、たな卸資産及びのれんの増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ35億36百万円増加し、223億68百万円となりました。これは、仕入債務の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4百万円減少し、402億31百万円となりました。これは、為替換算調整勘定の増加を上回る繰延ヘッジ損益の発生が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月13日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,860	5,395
受取手形及び売掛金	12,455	14,895
有価証券	5,000	5,000
商品及び製品	5,819	8,480
仕掛品	462	544
原材料及び貯蔵品	1,744	2,985
その他	1,936	2,795
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	39,277	40,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,633	4,786
機械装置及び運搬具(純額)	1,860	1,844
土地	5,565	5,565
その他(純額)	1,100	945
有形固定資産合計	13,161	13,142
無形固定資産		
のれん	—	2,512
その他	921	965
無形固定資産合計	921	3,478
投資その他の資産		
投資有価証券	4,286	4,546
その他	1,436	1,355
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	5,707	5,886
固定資産合計	19,790	22,506
資産合計	59,068	62,599
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,771	8,845
電子記録債務	469	1,032
短期借入金	894	1,410
未払法人税等	1,949	454
賞与引当金	661	310
営業外電子記録債務	114	374
その他	4,929	4,091
流動負債合計	12,791	16,518
固定負債		
長期借入金	2,100	2,100
退職給付引当金	1,912	1,874
その他	2,027	1,875
固定負債合計	6,040	5,849
負債合計	18,832	22,368

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,939	10,939
資本剰余金	13,235	13,235
利益剰余金	16,374	16,258
自己株式	△1,665	△1,689
株主資本合計	38,884	38,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,090	1,229
繰延ヘッジ損益	—	△164
為替換算調整勘定	39	197
その他の包括利益累計額合計	1,130	1,262
少数株主持分	220	224
純資産合計	40,235	40,231
負債純資産合計	59,068	62,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,260	10,488
売上原価	4,355	6,461
売上総利益	2,904	4,027
販売費及び一般管理費	2,764	3,401
営業利益	139	625
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	22	24
不動産賃貸料	18	18
持分法による投資利益	8	14
その他	8	14
営業外収益合計	59	73
営業外費用		
支払利息	3	10
為替差損	62	36
たな卸資産廃棄損	35	9
その他	34	45
営業外費用合計	135	102
経常利益	63	596
特別損失		
固定資産処分損	16	6
特別損失合計	16	6
税金等調整前四半期純利益	47	590
法人税等	27	123
少数株主損益調整前四半期純利益	19	466
少数株主利益	9	14
四半期純利益	10	452

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19	466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	276	139
繰延ヘッジ損益	—	△164
為替換算調整勘定	162	141
持分法適用会社に対する持分相当額	27	29
その他の包括利益合計	466	145
四半期包括利益	486	611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	458	584
少数株主に係る四半期包括利益	27	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,345	494	6,839	420	7,260	—	7,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	188	189	△189	—
計	6,345	494	6,840	609	7,449	△189	7,260
セグメント利益	5	128	134	136	271	△131	139

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△131百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△147百万円、未実現利益の調整等16百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,290	785	10,076	412	10,488	—	10,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	203	203	△203	—
計	9,291	785	10,077	615	10,692	△203	10,488
セグメント利益	278	396	674	91	765	△140	625

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△140百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△152百万円、未実現利益の調整等12百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「農薬」セグメントにおいて、平成25年10月に I S E M社 (イタリア) との間で I S E M社が所有する除草剤「オルソスルフアムロン」を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。当第1四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は2,512百万円であります。